

千葉県議会議長 様

ちば高校生県議会 政策提言書

令和8年7月27日

ちば高校生県議会

私たち、ちば高校生県議会は、未来を担う世代として、より良い地域社会の実現に向けて、以下の提言を千葉県議会に提出いたします。

○魅力ある千葉県づくりについて

＜観光地の魅力向上への方策＞

- 千葉の魅力を知ってもらうために、若いインフルエンサーや有名人を起用して千葉の魅力を紹介してもらう。

＜観光地までのアクセス向上等への方策＞

- 外房・内房は決して交通アクセスがいいとは言えないため、県と市町村が連携してバスツアーを観光事業者に提案し、千葉県の周遊ツアーを作る。
- 東京駅や成田空港から、高速バスや電車等でアクセスの良いハブターミナルを作り、そこからレンタカーや観光タクシーの整備の促進を図る。

＜宿泊者増加への方策＞

- ハブターミナル周辺に、価格帯の安いホテルの誘致を促進する。
- 宿泊をしてもらうために体験型ホテル等の強化を行う。

○若者の政治参加について

<立候補者の広報活動>

- 選挙管理委員会等の信頼できる機関を軸として発信を行い、その内容は各議員や政党から案を出す。
- 電車やバスの車内に広告を出し、若者の目にとまりやすい掲示を行う。

<主権者教育>

- 小学校高学年や中学生から、軽く政治を体験できるようなレクリエーションを取り入れ、政治教育をしていく。ただし、政治的中立性を保たせながら、生徒が自ら考えていけるような取り入れ方をする。
- 学校教育とは別に、行政主導で課外活動等を行い、行政が主体となって動いていることをアピールする。

<投票に対するインセンティブ>

- 報酬制を取り入れ、ポイントを付与する。
- ポイントを簡単に受け取れないような仕組みとして、マイナンバーカードを活用する。
- 投票に行く際に有給休暇を取得できるようにし、投票に行きやすいような環境づくりを進める。

○気候変動への対応について

<情報提供>

- 熱中症による救急搬送者の70パーセントを占める高齢者への対策として、千葉のローカルテレビなどで冷房活用の啓発や熱中症対策を行い、残り30パーセントの65歳以下へは、スマートフォンを活用して、クールスポットや水分補給できる場所、気温やハザードマップなどの情報を一括にまとめた、わかりやすいアプリやウェブなどを作る。
- クールスポットではイベント開催など、地域の交流を増やし、人々が集まる企画を行う。

<ヒートアイランドの抑止効果>

- 公園を含めた公共施設の緑化を進め、高木を積極的に植樹する。
- 長期的な視点から、既存の木よりもCO₂吸収量が多く、成長が早い「エリートツリー」という杉を用いる。

<猛暑への対応策>

- 部活動について涼しい時間に行うようにし、暑い時間はクーラーが設置されている学校や市民体育館を使用して練習や試合ができるように、運動施設の開館時間の前倒しや公立高校のエアコン設置の前倒しに取り組む。
- 仕事では、暑さ指数WBGTに応じて行えるようにし、暑さを避けられない職種の場合は、給料を補填したり、コンビニエンスストアや飲食店で飲料を無料で支給する取り組みを行う。
- ファンジャケット・ファン付きウェアを普及させ、ファンの電源確保にあたっては、行政と企業が協力して、千葉県で豊富に採れるヨウ素を使用したペロブスカイト太陽電池の普及促進に取り組む。